

Windows 11 / Windows 10

リカバリーイメージ

ダウンロードサービス手順書

パナソニック コネクト株式会社
モバイルソリューションズ事業部

公開：2019年3月26日

更新：2022年5月26日

目次

1. はじめに.....	4
1.1 本書について.....	4
1.2 対象機種.....	5
1.3 作業の流れ.....	6
2. Windows リカバリーメディアの作成.....	7
2.1 【Step 1】事前準備.....	7
2.1.1 未使用メディアの準備.....	7
2.1.2 空き容量の確認.....	7
2.2 【Step 2】リカバリーディスク作成ユーティリティのダウンロード.....	7
2.3 【Step 3】Windows リカバリー用データのダウンロード.....	8
2.3.1 注意事項.....	8
2.3.2 製品品番と製造番号の確認.....	9
2.3.3 ダウンロードの手順.....	10
2.3.4 ダウンロードの中断.....	15
2.3.5 ダウンロードの再開.....	16
2.4 【Step 4】Windows リカバリーメディアの作成.....	17
2.4.1 注意事項.....	17
2.4.2 メディア作成の手順.....	18
2.4.3 メディア作成の中断.....	23

2.4.4	メディア作成の再開	24
3.	Windows のリカバリー	25
3.1	【Step 5】 重要なデータなどのバックアップ	25
3.2	【Step 6】 Microsoft® Office のセットアップ	25
3.3	【Step 7】 Windows のリカバリー	25
3.4.1	注意事項	25
3.4.2	リカバリーの手順	26
4.	Q&A (困ったときは)	30
4.1	.NET Framework のインストール方法は?	30
4.2	リカバリー用データの保存先は?	30
4.3	複数機種のリカバリー用データをダウンロードするには?	30
4.4	Microsoft® Office の再インストール方法は?	30
4.5	OS の再インストールに失敗した場合は?	31

1. はじめに

1.1 本書について

「Windows 11 Pro」プリインストールモデルをご購入のお客様へ

お客様は、本書記載のサービスを利用して、ネットワーク経由で Windows 11 Pro のリカバリー用データ（インストールイメージ）をダウンロードし、リカバリーメディア（DVD、または、USB メモリー）を作成することができます。また、このメディアを使って、当社製品の「Windows 11 Pro」プリインストールモデルをリカバリーすることができます。

なお、Windows 11 リカバリーイメージダウンロードサービスについては、以下の Web ページをご参照ください。

<https://askpc.panasonic.co.jp/dl/os/recv/win11recv.html>

「Windows 10 Pro」ダウングレードモデルをご購入のお客様へ

お客様は、本書記載のサービスを利用して、ネットワーク経由で Windows 11 Pro または Windows 10 Pro のリカバリー用データ（インストールイメージ）をダウンロードし、リカバリーメディア（DVD、または、USB メモリー）を作成することができます。また、このメディアを使って、当社製品の「Windows 10 Pro」ダウングレードモデルをリカバリーすることができます。

なお、Windows 11 リカバリーイメージダウンロードサービスについては、以下の Web ページをご参照ください。

<https://askpc.panasonic.co.jp/dl/os/recv/win11recv.html>

「Windows 10 Pro」ダウングレードモデル向け Windows 10 リカバリーイメージダウンロードサービスについては、以下の Web ページをご参照ください。

<https://askpc.panasonic.co.jp/dl/os/recv/win10dg-10recv.html>

「Windows 10 Pro」プリインストールモデルをご購入のお客様へ

お客様は、本書記載のサービスを利用して、ネットワーク経由で Windows 10 Pro のリカバリー用データ（インストールイメージ）をダウンロードし、リカバリーメディア（DVD、または、USB メモリー）を作成することができます。また、このメディアを使って、当社製品の「Windows 10 Pro」プリインストールモデルをリカバリーすることができます。

なお、「Windows 10 Pro」プリインストールモデル向け Windows 10 リカバリーイメージダウンロードサービスについては、以下の Web ページをご参照ください。

<https://askpc.panasonic.co.jp/dl/os/recv/win10-10recv.html>

本サービスで使用するツールは、Windows 10 ダウングレードモデル向け Windows 10 リカバリーイメージダウンロードサービスとそれ以外とで異なります。上記適切な Web ページからツールをダウンロードしてください。

本書では、これらの作業手順について説明します。

1.2 対象機種

対象機種は、上記の Web ページをご参照下さい。レッツノートは製品品番の末尾が「S」の製品のみが対象となります。

1.3 作業の流れ

Windows のリカバリーについて、作業の流れを「表 1」に示します。

ここで、バージョンを付記しない「Windows」は、リカバリーしようとしている Windows 11 または Windows 10 を表しています。

また「ツール」とは、Windows リカバリー用のサポートツール「リカバリーディスク作成ユーティリティ（ダウンロード対応版）」を表しています。

「***」は、ツールのバージョンによって異なるファイル・フォルダ名文字列を表しています。

各節に記載の注意事項と事前準備をご確認の上、作業を行ってください。

表 1 作業の流れ

	順序	作業内容
Windows リカバリー用 メディア作成 (2章)	Step 1 (2.1 節)	事前準備 ・未使用メディアの準備 ・空き容量の確認
	Step 2 (2.2 節)	「ツール」のダウンロード
	Step 3 (2.3 節)	「ツール」を使用して、Windows リカバリー用データをダウンロード
	Step 4 (2.4 節)	「ツール」を使用して、Windows リカバリーメディアを作成
Windows の リカバリー (3章)	Step 5 (3.1 節)	重要なデータなどのバックアップ
	Step 6 (3.22 節)	Microsoft® Office のセットアップ ※セットアップ済みの場合は不要
	Step 7 (3.33 節)	Windows リカバリー用メディアを使用して、OS をインストール

2. Windows リカバリーメディアの作成

2.1 【Step 1】 事前準備

2.1.1 未使用メディアの準備

- DVD-R、DVD+R (単層)、DVD+R (2層) はご使用いただけません。DVD で作成される場合には DVD-R (2層) のメディアをご準備ください。
- リカバリー用データのサイズが、約 26GB 以上の場合、USB メモリーを用いて、リカバリーメディアを作成することはできません。その場合は、DVD をご利用ください。
- 各メディアの必要枚数、および、必要容量の目安は、以下のとおりです。

表 2 各メディアの必要枚数と必要容量の目安

メディア種別	日本語モデル	アジアモデル
DVD-R (単層) DVD+R (単層)	サポートしていません。	
DVD-R DL (2層)	2枚程度	2枚程度
DVD+R DL (2層)	サポートしていません。	
USB メモリー ※	16GB 以上	32GB 以上
Blu-ray	サポートしていません。	

※USB メモリーに保存されていたデータは、全て消去されますので、ご注意ください。

2.1.2 空き容量の確認

ご利用の作業用パソコンにつきましては、Windows システムがインストールされているドライブの空き容量を、事前に確認してください。ダウンロードするリカバリー用データ (ISO イメージファイル) のサイズは 15 GB 程度となり、作業用パソコンには、その分の空き容量が必要です。なお、リカバリー用データのサイズは、ツールの画面に表示されます (図 5)。

2.2 【Step 2】 リカバリーディスク作成ユーティリティのダウンロード

本サービスをご利用いただくためには、Windows リカバリー用のサポートツールである、「リカバリーディスク作成ユーティリティ (ダウンロード対応版)」のダウンロードと展開が必要です。以下の手順を行ってください。

なお、本ツールが動作可能な OS は、以下のとおりです。

Windows 11, Windows 10, Windows 8.1, Windows 8, Windows 7

- 1) ダウンロードページに掲載されているプログラム (recvdiscdl_***.exe) をダウンロードします。直接実行せず、任意のフォルダやドライブを指定して保存してください。
- 2) 保存したプログラム (recvdiscdl_***.exe) を実行し、作業用フォルダにファイルを展開します。
- 3) 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されますので、「はい」をクリックします。
- 4) 使用許諾契約をよくお読みになり、許諾契約に合意された場合は「はい」をクリックして次に進みます。
- 5) 「展開先フォルダ」を指定し、「OK」をクリックします。作業用フォルダは、プログラムが自動的に作成しますので、特に変更する必要はありません。
- 6) 下記のフォルダに展開したファイルが保存されます。

c:¥util2¥recvdiscdl_***

2.3 【Step 3】 Windows リカバリー用データのダウンロード

2.3.1 注意事項

- リカバリー用データはサイズが非常に大きいため、定額制のブロードバンド回線を使用されることを強く推奨します。通信費用はお客様のご負担となりますのでご注意ください。
- ダウンロードは長時間かかるため、作業中は、できるだけ他の操作を行わない時間帯に実施されることをお勧めします
- 本書記載のツールは、管理者として実行いただく必要がございます（管理者権限が必要です）。「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、画面の指示にしたがって操作してください。
- 本書記載のツールをご利用いただくためには、「.Net Framework 4.5 以上」がインストールされている必要があります。
- ネットワークの接続は維持してください。
- 作業中は、AC アダプターを接続したままの状態にしてください。また、他のアプリケーションをすべて終了し、再起動やシャットダウンを行ったり、スリープ状態や休止状態に移行したりしないでください。

2.3.2 製品品番と製造番号の確認

リカバリー用データをダウンロードする際、お手持ちのパナソニック製品の「製品品番」と「製造番号」が必要です。下記のいずれかの方法でご確認ください。

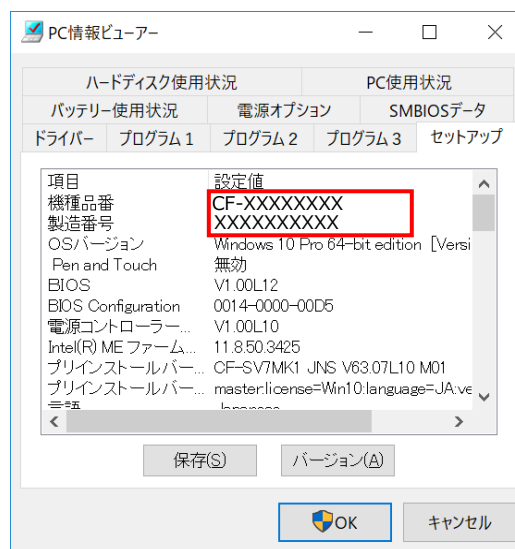
- ・保証書
- ・パソコン本体の品番ラベル
- ・PC 情報ビューアーの情報

「PC 情報ビューアー」を利用して確認する方法を以下に記載します。

- 1) (スタート) - (Panasonic PC 設定ユーティリティ) をクリックしてください。
- 2) (サポート) - (システム情報) - [PC 情報ビューアーを起動する]をクリックしてください。



- 3) 「PC 情報ビューアー」の起動後、「セットアップ」タブをクリックしてください。画面上部に、機種品番（製品品番）と製造番号が表示されます。



2.3.3 ダウンロードの手順

1) 下記のフォルダに保存されている、「RecvDiscDl.exe」をダブルクリックし、ツールを起動します。

c:¥util2¥recvdiscdl_***

「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[はい]をクリックしてください。

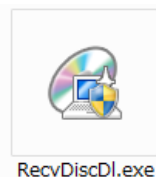


図 1

※作業用パソコンに「.Net Framework 4.5 以上」がインストールされていない場合、下のエラー画面が表示されます。「4.1.NET Framework のインストール方法は？」に記載の手順でインストールされた後、再び、ツールを起動してください。

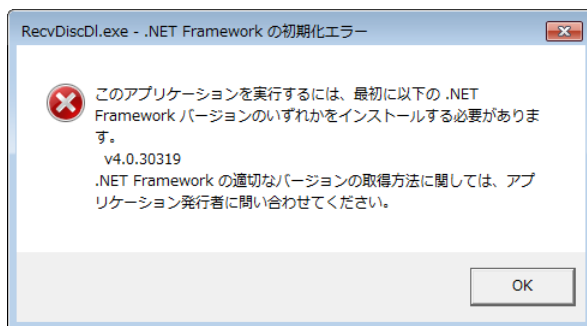


図 2

2) ツールが起動すると、下の画面が表示されます。[次へ] ボタンをクリックしてください。

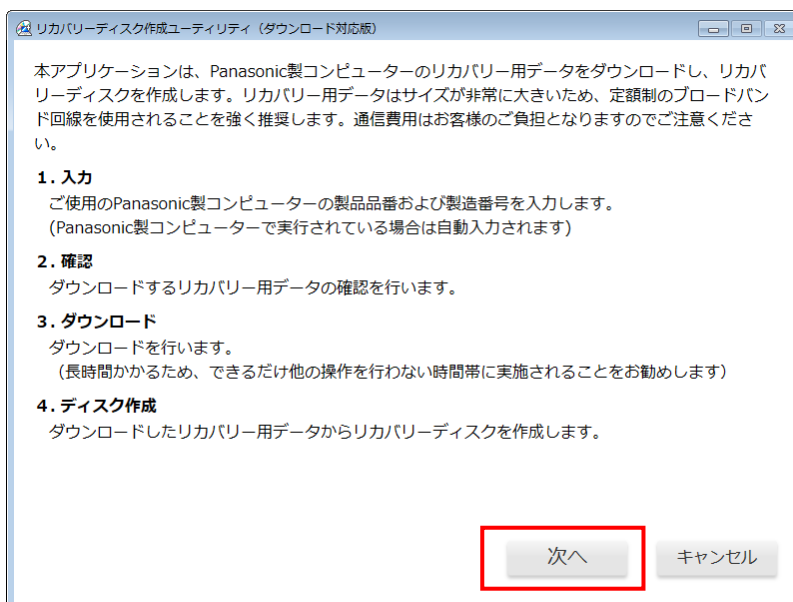


図 3

- 3) 入力画面が表示されます。作業用パソコンがパナソニック製品である場合は、作業用パソコンの製品品番と製造番号が自動表示されます。作業用パソコンと、リカバリー対象のパソコンが異なる場合は、本画面に表示された製品品番、および、製造番号の情報を修正してください。表示内容が正しいことを確認し、[次へ] ボタンをクリックしてください。

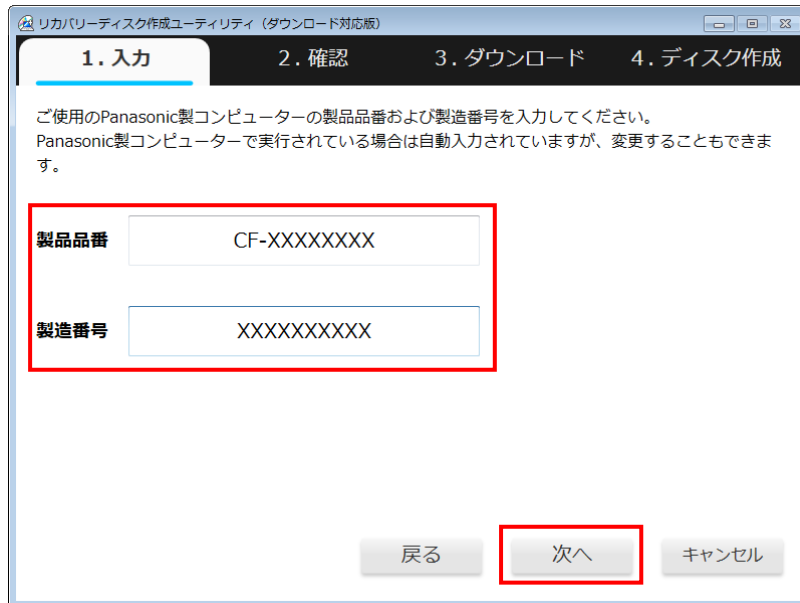


図 4

- 4) 製品品番と製造番号の入力が正しい場合、以下の画面が表示されます。[次へ] ボタンをクリックしてください。このとき、画面に表示されるリカバリー用データのサイズを(図 5 の★)、ご確認ください。なお、下図や、以降に記載している“リカバリー用データの名称”は、その一例であり、対象製品によって異なるので、ご注意ください。

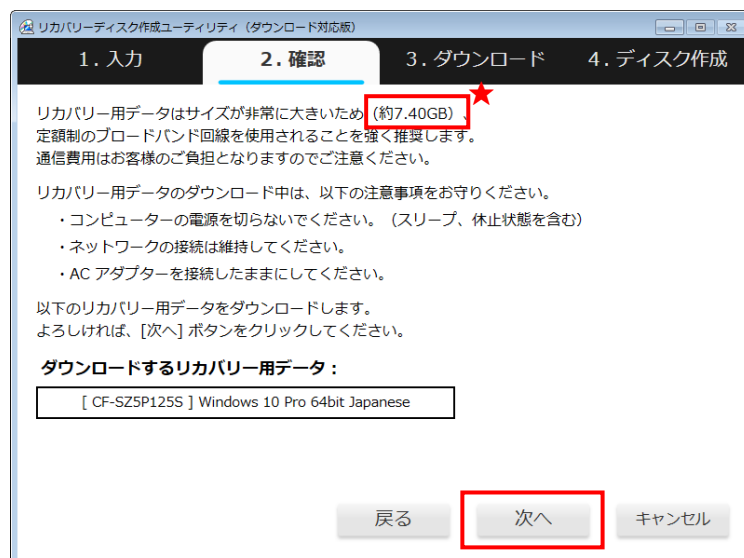
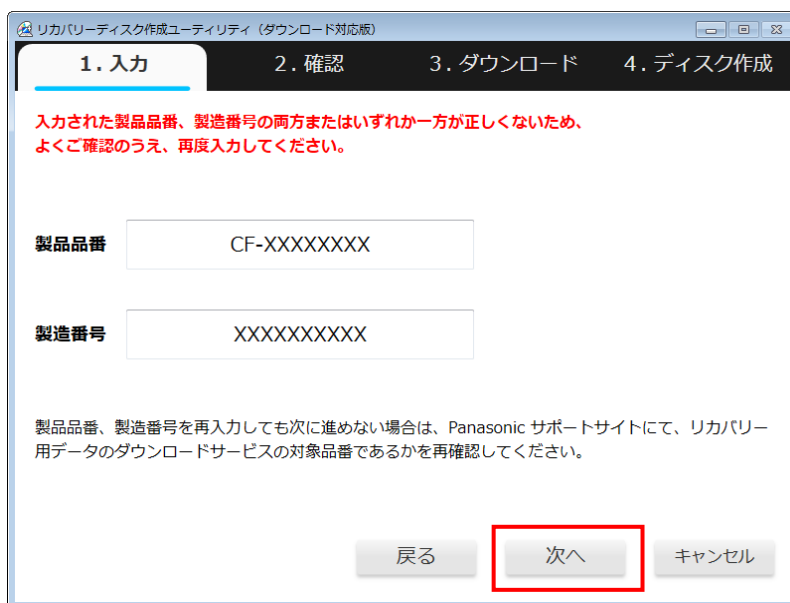


図 5

※ここで、製品品番と製造番号の入力に誤りがある場合は、下の画面が表示されます。入力情報をご確認いただき、修正いただいた後、[次へ] ボタンをクリックしてください。製品品番と製造番号の確認方法については、「2.3.2 製品品番と製造番号の確認」を参照ください。



リカバリーディスク作成ユーティリティ (ダウンロード対応版)

1. 入力 2. 確認 3. ダウンロード 4. ディスク作成

入力された製品品番、製造番号の両方またはいずれか一方が正しくないため、よくご確認のうえ、再度入力してください。

製品品番 CF-XXXXXXXX

製造番号 XXXXXXXXXXXX

製品品番、製造番号を再入力しても次に進めない場合は、Panasonic サポートサイトにて、リカバリー用データのダウンロードサービスの対象品番であるかを再確認してください。

戻る 次へ キャンセル

図 6

5) リカバリー用データのダウンロードが始まり、下の画面が表示されます。なお、ここで、[中断] ボタンをクリックすると、ダウンロードを中断し、後で、途中から再開することもできます。[中断] ボタンをクリックすると、図 10 の画面が表示されます。中断と再開の手順につきましては、「2.3.4 ダウンロードの中断」、および、「2.3.5 ダウンロードの再開」を参照ください。

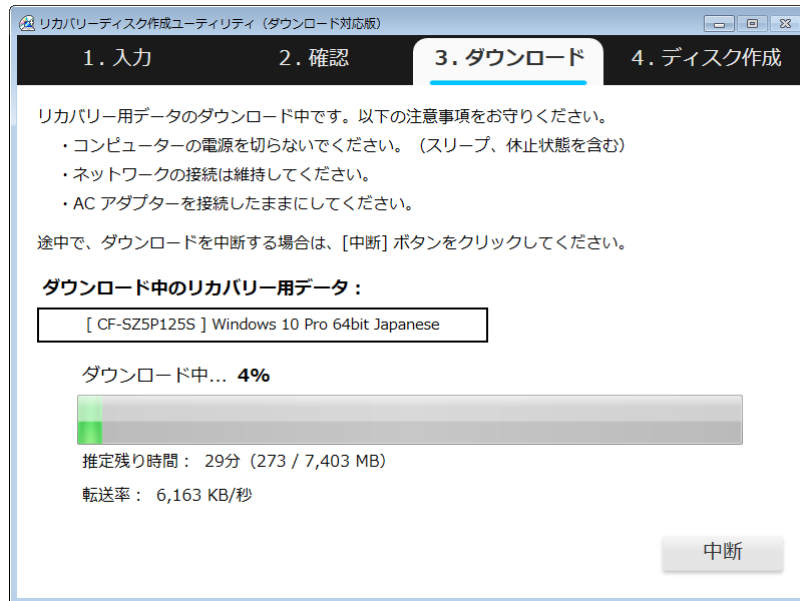


図 7

※ダウンロードに失敗した場合は、下の画面が表示されます。表示内容をご確認いただいた後、[終了] ボタンをクリックしてください。[終了] ボタンをクリックすると、図 10 の画面が表示されます。中断と再開の手順につきましては、「2.3.4 ダウンロードの中断」、および、「2.3.5 ダウンロードの再開」を参照ください。

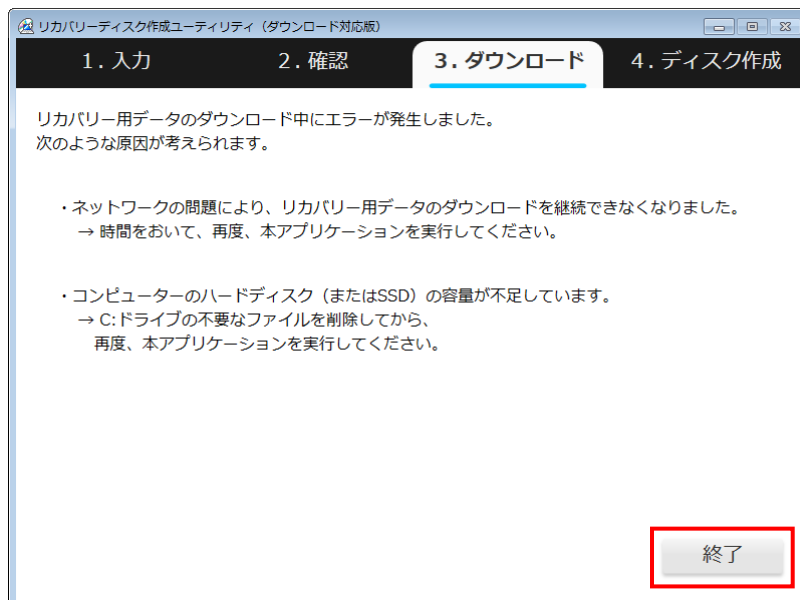


図 8

- 6) ダウンロードが完了すると、下の画面が表示されます。[次へ] ボタンをクリックすると、リカバリーメディアの作成が始まります。リカバリーメディアの作成手順につきましては、次章を参照ください。なお、[キャンセル] ボタンを押して、メディア作成を一時中断することもできます（このとき、図 21 の画面が表示されます）。[キャンセル] ボタンを押しても、これまでにダウンロードしたリカバリー用データは消去されません。メディア作成の中断と再開については、「2.4.3 メディア作成の中断」、および、「2.4.4 メディア作成の再開」を参照ください。

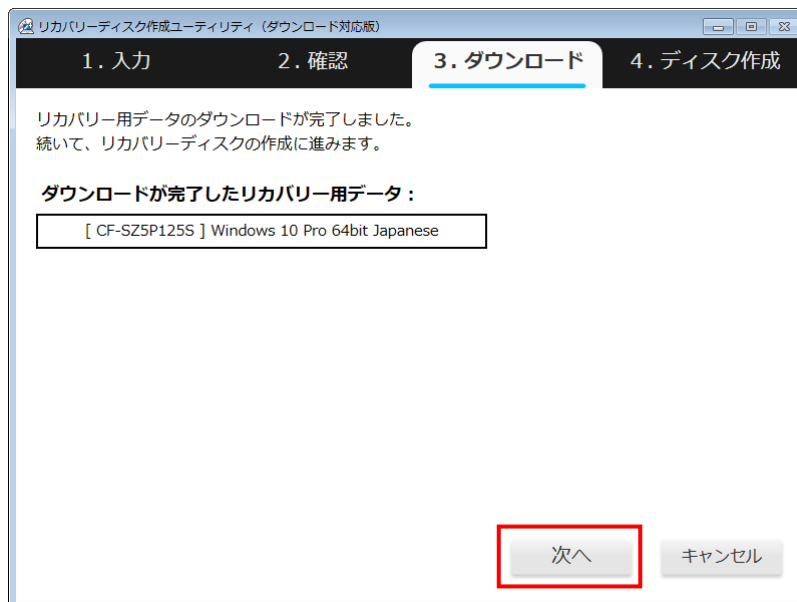


図 9

2.3.4 ダウンロードの中断

ダウンロードは、その作業を一時中断し、後で再開することができます。作業を中断すると、下の画面が表示されます。説明をご確認いただいた後、「データを残して終了する」、または、「破棄して終了する」を選択し、[終了] ボタンをクリックしてください。再開につきましては、「2.3.5 ダウンロードの再開」を参照ください。

※一度、リカバリー用データをダウンロードした後は、そのリカバリーメディアを作成しないと、別機種のリカバリー用データをダウンロードすることはできません。新たに、別機種のダウンロードを行う場合は、リカバリーメディアを作成するか、または、下の画面で「ダウンロード途中のデータを破棄して終了する」を選択してください。

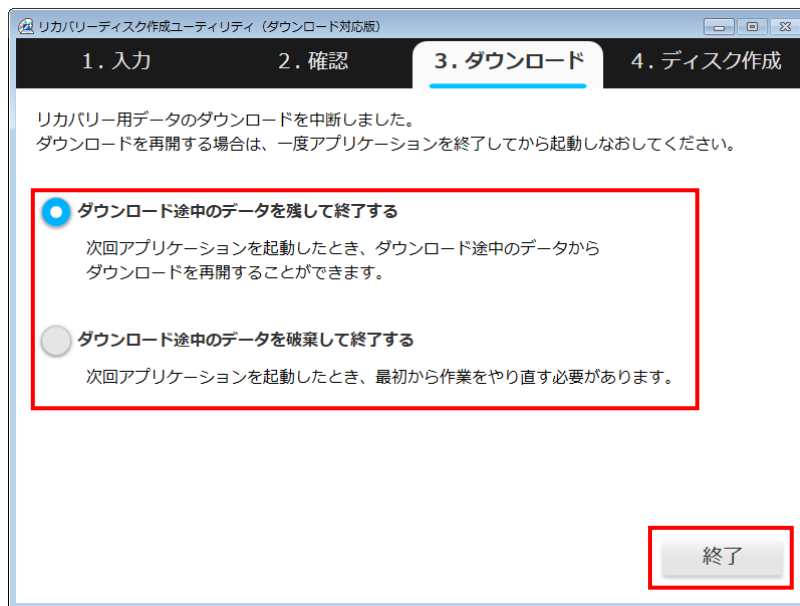


図 10

2.3.5 ダウンロードの再開

ダウンロードを中断して（ダウンロードが途中で失敗した場合も含む）ツールを終了した後で、再び、ツールを起動すると、下の画面が表示され、ダウンロードを途中から再開することができます。表示内容をご確認いただき、[新規ダウンロード]、または、[ダウンロード再開] を選択し、クリックしてください。[新規ダウンロード] を選択すると、これまでにダウンロードしたリカバリー用データは消去されますので、ご注意ください。

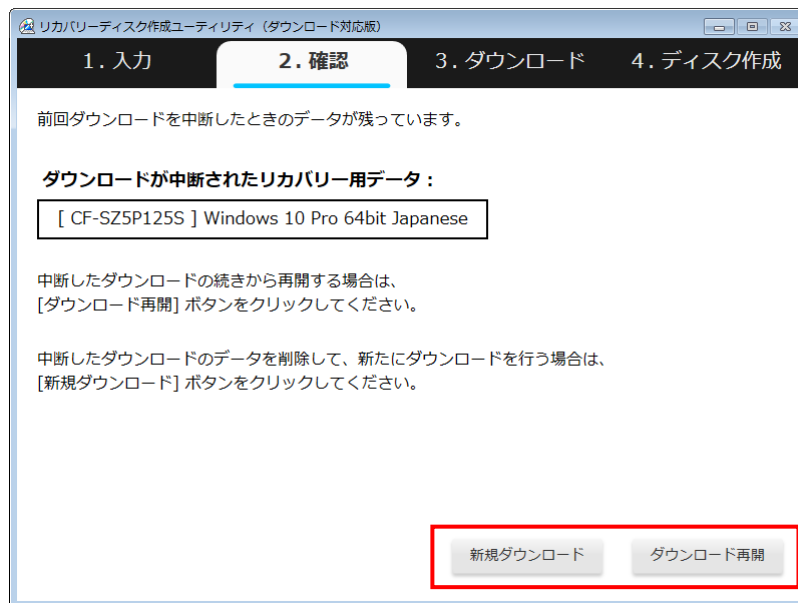


図 11

2.4 【Step 4】 Windows リカバリーメディアの作成

2.4.1 注意事項

- リカバリーメディアの作成が完了すると、先の手順でダウンロードした「リカバリー用データ」は、パソコンから削除されます。
- 本機を購入後に追加したアプリケーションや追加した設定は、リカバリーメディアに保存されません。
- リカバリーメディアの作成中は、AC アダプターを接続してください。また、再起動やシャットダウンを行ったり、スリープ状態や休止状態に移行したりしないでください。
- メディアへの書き込み中は、本機に振動を与えないでください。また、メディアを取り出したりしないでください。
- 作業中は、AC アダプターを接続したままの状態にしてください。また、他のアプリケーションをすべて終了してください。
- 作成したリカバリーメディアは、大切に保管してください。
- リカバリーメディアとして作成した USB メモリーは、以降、他の用途には使用できなくなります。

2.4.2 メディア作成の手順

- 1) 【使用上のお願い】をご確認いただいた後、DVD メディアをドライブに入れて（または、USB メモリーを接続して）、[次へ] ボタンをクリックしてください。

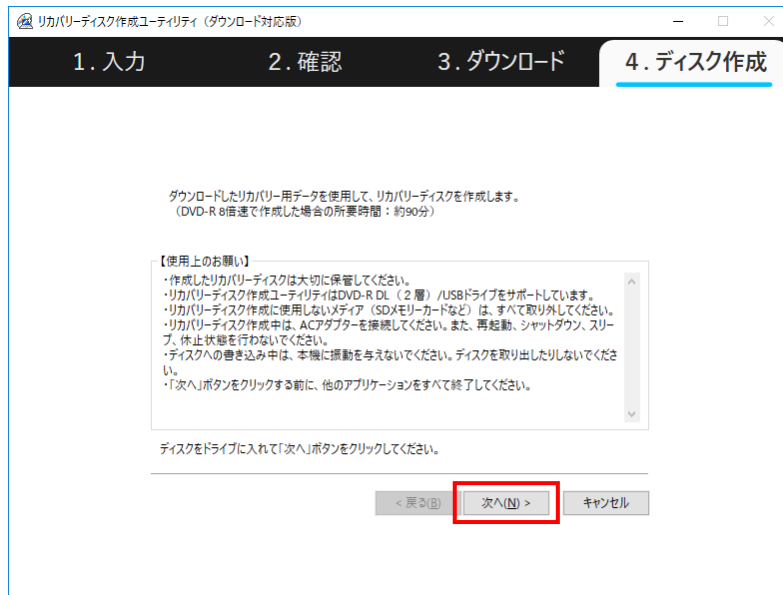


図 12

- 2) メディアに関する情報が表示されます。必要な枚数（容量）をご確認いただいた後、[次へ] ボタンをクリックしてください。

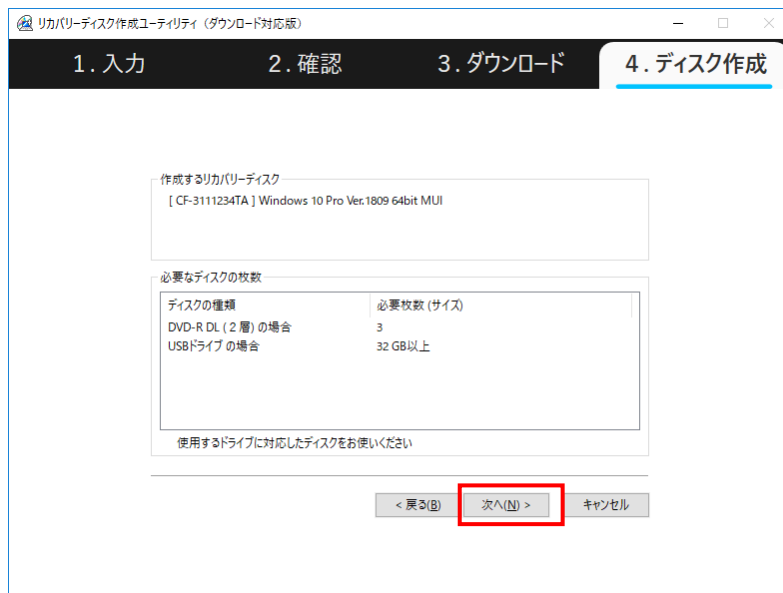


図 13

- 3) 「ドライブ」から使用する光学ドライブまたは USB メモリーを選択してください。DVD メディアの場合、メディアに関する情報が表示されます。「ディスクの種類」が自動選択されていない場合は、手動で選択してください。オプション機能を使うとメディアに書き込んだデータとダウンロードしたデータを比較し、リカバリーメディアが正常に作成されたことを確認することができます。このオプションには最大で 20 分程度かかります。また、作業用パソコンには 9GB の空き容量が必要となります。[次へ] ボタンをクリックしてください。

リカバリーディスク作成ユーティリティ (ダウンロード対応版)

1. 入力 2. 確認 3. ダウンロード **4. ディスク作成**

ドライブ
[(E:) HL-DT-ST BD-RE BU40N]

ディスクの種類を選択してください
 DVD-R DL

作成するリカバリーディスク

ディスク番号	状態
<input checked="" type="checkbox"/> リカバリーディスク #1 の作成	作成していません
<input checked="" type="checkbox"/> リカバリーディスク #2 の作成	作成していません

オプション
 書き込み完了後に、正常に書き込まれたかをダウンロードデータと比較して確認する。
この処理は最大で約20分かかり、PCの空き容量が約9GB必要になります。

< 戻る(B) **次へ(N) >** キャンセル

図 14

4) DVD メディアの場合、リカバリーメディア作成中の画面が表示されます (図 15)。オプション機能を選択した場合はファイルの比較画面が表示されます (図 16)。以降は、画面の表示内容にしたがってメディアを差替え、作業を継続してください (図 17)。なお、ここで、[キャンセル] ボタンをクリックすると、メディア作成を中断することもできます。[キャンセル] ボタンをクリックしても、これまでにダウンロードしたリカバリーイメージは消去されません。なお、書き込み途中でキャンセルした場合、その際に書き込みを行っていたメディアは、以降、ご利用できませんのでご注意ください。メディア作成の中断と再開については、「2.4.3 メディア作成の中断」、および、「2.4.4 メディア作成の再開」を参照ください。

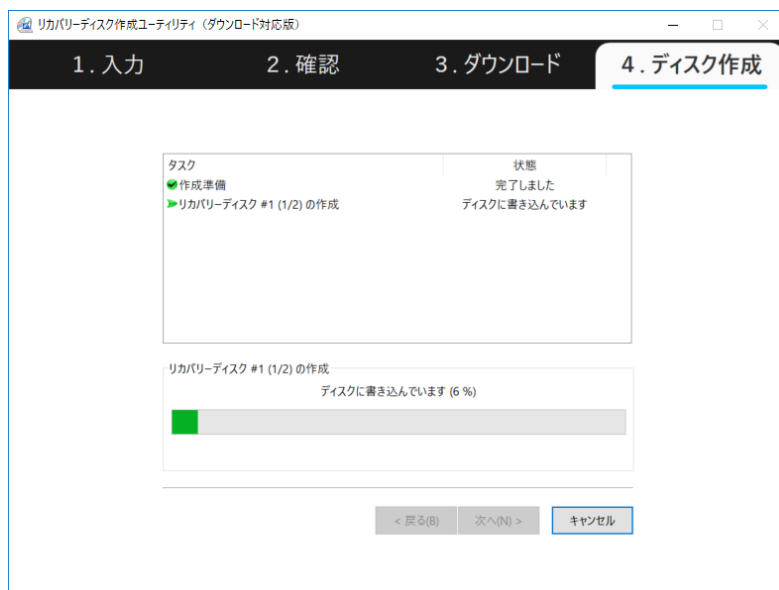


図 15

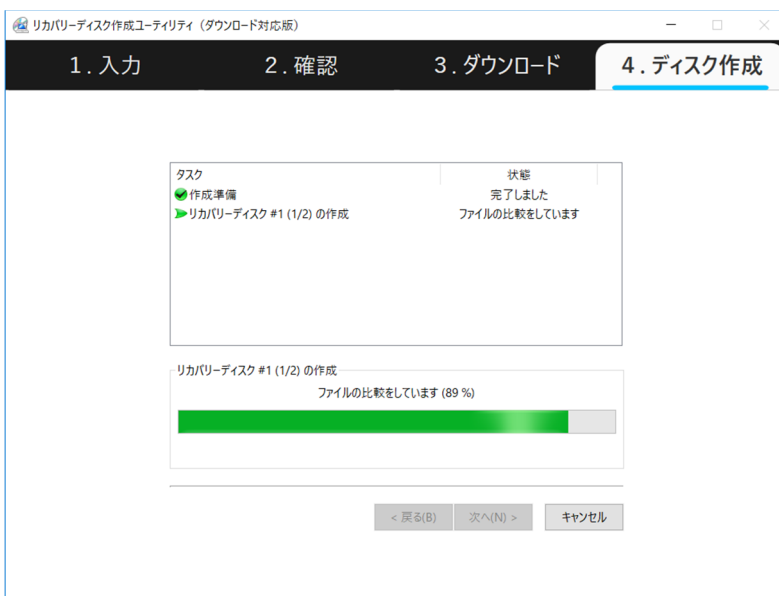


図 16

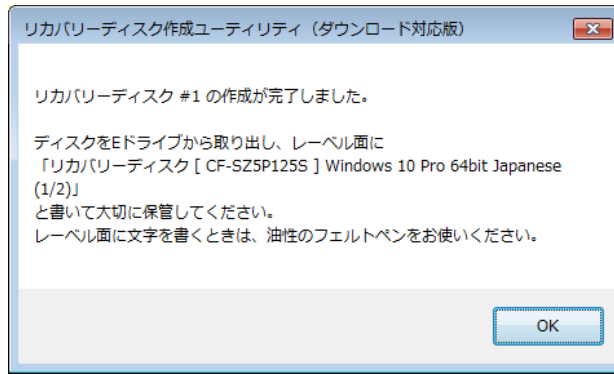


図 17

※USB メモリーをご利用の場合は、下の画面が表示されます (図 18、図 19)。画面の表示内容をご確認いただき、作業を継続してください。

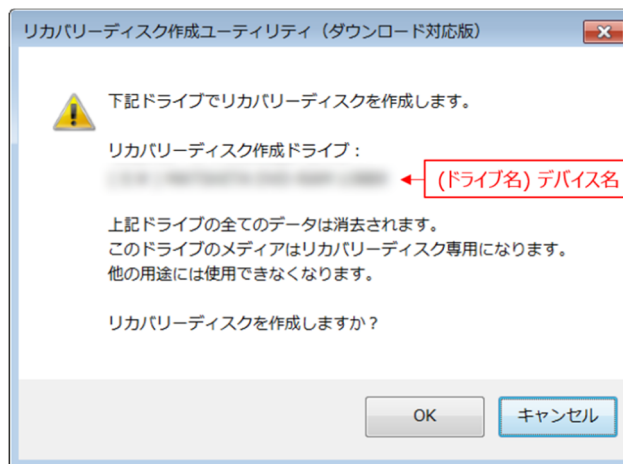


図 18

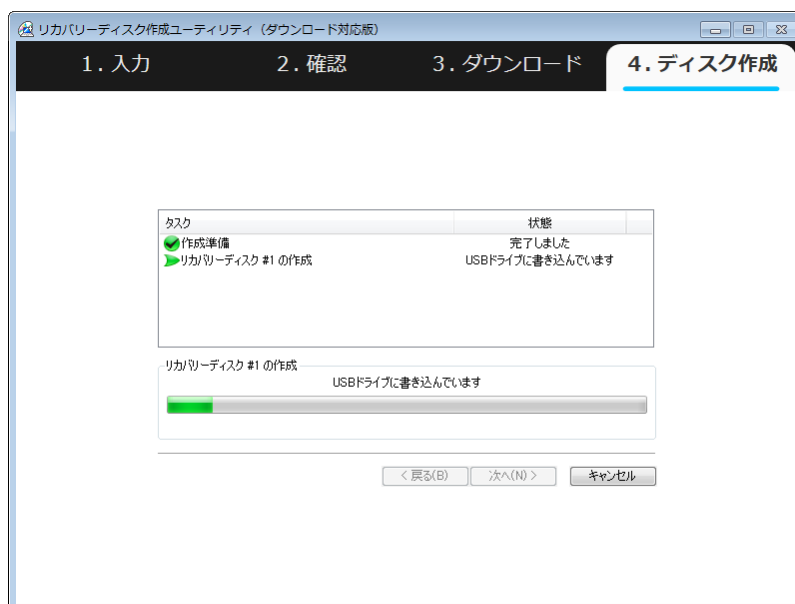


図 19

- 5) メディアの作成が完了すると、下の画面が表示されます。[終了] ボタンをクリックしてください。作成したメディアを用いて、Windows をリカバリーする手順につきましては、次章を参照ください。
- ※なお、メディアの作成が完了すると、先の手順でダウンロードした「リカバリー用データ」は、作業用パソコンから削除されます。

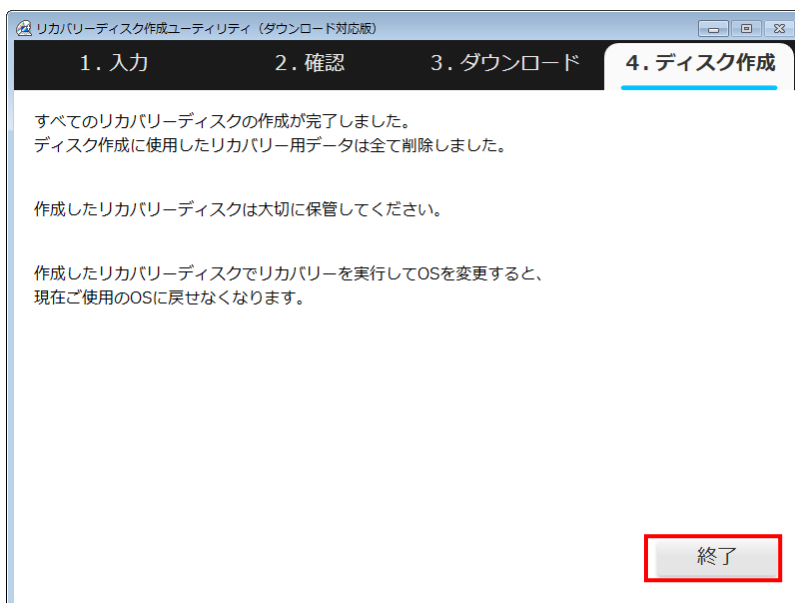


図 20

2.4.3 メディア作成の中断

メディア作成の途中で、[キャンセル] ボタンをクリックすると、下の画面が表示され、作業を中断することができます。画面の表示内容をご確認いただき、「データを残して終了する」、または、「データを破棄して終了する」を選択し、[終了] ボタンをクリックしてください。「データを破棄して終了する」を選択すると、これまでダウンロードしたインストールイメージが消去されますので、ご注意ください。再開については、「2.4.4 メディア作成の再開」を参照ください。なお、書き込み途中でキャンセルした場合、その際に書き込みを行っていたメディアは、以降、ご利用できませんのでご注意ください。

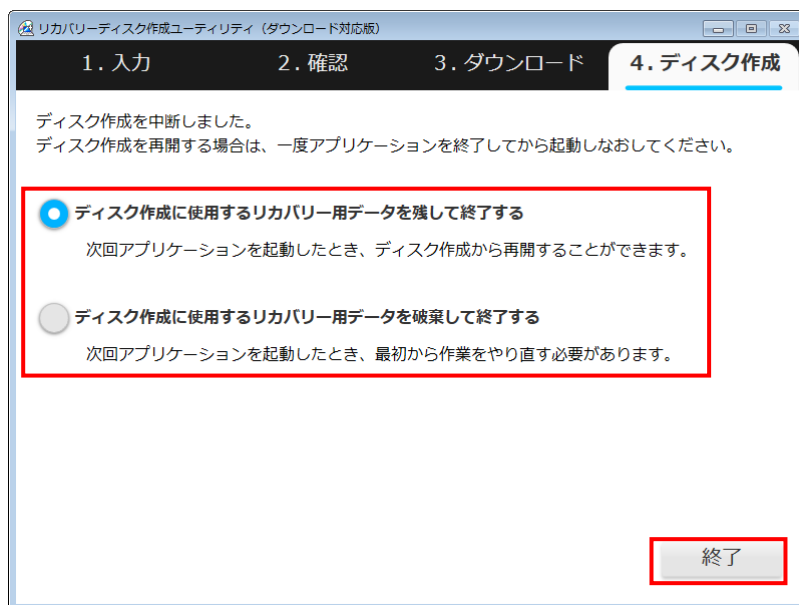


図 21

2.4.4 メディア作成の再開

メディアの作成を中断してツールを終了した後、再び、ツールを起動すると、



図 12 の画面が表示され、メディア作成の作業を、続きから再開することができます。以降は、画面にしたがって、作業を行ってください。

3. Windows のリカバリー

3.1 【Step 5】重要なデータなどのバックアップ

- 作成したデータなどのバックアップが取れる状態であれば、他のメディアや、外付けのハードディスクなどに、バックアップを取ってください。Windows をリカバリーすると、それ以前にインストールしていたアプリケーションソフトや、メールの履歴など、お客さまが作成したデータや、データ用のパーティションは削除されます。
- ネットワークの設定や、ユーザ名、パスワード等の必要な情報をメモしてください。リカバリーを実行すると、これらの情報は消去されます。
- 本機を購入後に追加したアプリケーションや、追加した設定は、リカバリーメディアに保存されませんので、ご注意ください。

3.2 【Step 6】Microsoft® Office のセットアップ

Microsoft® Office インストール済みモデルの場合、Windows のリカバリー実施前に、Office のセットアップを済ませておく必要があります。Office のセットアップを行わなかった場合、Windows のリカバリーを行った後、Microsoft® Office の再インストールができなくなります。Microsoft® Office のプロダクトキーカードをご覧ください、カード記載の手順にしたがって、設定してください。

3.3 【Step 7】Windows のリカバリー

3.4.1 注意事項

- 作業中は、AC アダプターを接続したままの状態にしてください。
- 全ての対応機種において、Windows の 64bit 版がインストールされます。

3.4.2 リカバリーの手順

以下の手順にしたがって、Windows のリカバリーを実行してください。また、Windows のリカバリーが完了しましたら、下記 URL にて対象機種のアップデート情報をご確認ください。

<https://faq.askpc.panasonic.co.jp/faq/dl>

なお、タフパッド製品では、パソコンの電源を入れ、本体起動後すぐ、「Panasonic」起動画面が表示されている間に、画面左上部をタッチすることで、セットアップユーティリティを起動することができます。以降の「キー」操作、「クリック」操作につきましては、タフパッド製品では「タッチ」操作で実行してください。また、TPM 内蔵モデルの場合は、外部キーボードを接続してください。

【リカバリーメディアに DVD をご利用の場合】

- 1) パソコンの電源を切り、AC アダプターを接続してください。
- 2) CD/DVD ドライブ搭載モデルをお使いの場合は、3) に進んでください。CD/DVD ドライブが搭載されていないモデルをお使いの場合は、外付け DVD ドライブ（別売り）を本機に接続してください。外付け DVD ドライブの接続のしかたは、外付け DVD ドライブの説明書をご覧ください。
- 3) パソコンの電源を入れ、本体の起動後すぐ、「Panasonic」起動画面が表示されている間に、「F2」または「Del」を押し、セットアップユーティリティを起動してください。パスワードを設定している場合、「パスワードを入力してください」と表示されることがありますので、スーパーバイザーパスワードを入力して、「Enter」を押してください。
- 4) セットアップユーティリティのすべての項目をメモした後、[終了]メニューに移動し、[デフォルト設定]を選び、「Enter」を押してください。確認のメッセージが表示されたら、[はい] をクリックしてください。
- 5) 「←」と「→」を使って「起動」メニューに移動し、[UEFI 起動]が存在する場合は [UEFI 起動]が「有効」であることを確認してください。CD/DVD ドライブが搭載されていないモデルをお使いの場合は、7) に進んでください。
- 6) CD/DVD ドライブ搭載モデルをお使いの場合は次の手順を行ってください。
 - A) 「←」と「→」を使って「メイン」メニューに移動する。
 - B) 「↑」と「↓」を使って[光学ドライブ電源]を選び、「Enter」を押して[オン]を選び、「Enter」を押す。
- 7) リカバリー用 DVD（1 枚目）を CD/DVD ドライブにセットしてください。
 - CD/DVD ドライブ搭載モデルをお使いで、ディスクカバーまたはトレイが開かない場合は、次の手順を行ってください。
 - A) 「詳細」メニューの[光学ドライブ]を[有効]、「メイン」メニューの[光学ドライブ電源]を[オン]に設定する。
 - B) 「F10」を押し、確認のメッセージが表示されたら[はい]を選び、「Enter」を押す。

- C) 「Panasonic」 起動画面が表示されている間に「F2」または「Del」を押し、セットアップユーティリティを起動する。
 - D) リカバリー用 DVD をセットする。
- CD/DVD ドライブが搭載されていないモデルをお使いの場合、メディアのセット方法については外付け DVD ドライブに付属の説明書をご覧ください。
- 8) 「終了」メニューに移動して「設定を保存して再起動」を選び、確認のメッセージが表示されたら、[はい] を選び、「Enter」を押してください。セットアップユーティリティが終了し、パソコンが再起動します。本体の起動後すぐ、「Panasonic」 起動画面が表示されている間に「F2」または「Del」を押し、セットアップユーティリティを起動してください。パスワードを設定している場合、「パスワードを入力してください」と表示されることがありますので、スーパーバイザーパスワードを入力して、「Enter」を押してください。
 - 9) セットアップユーティリティの「終了」メニューに移動し、[デバイスを指定して起動]の下に表示されている CD/DVD ドライブのデバイス名を選び、「Enter」を押してください。デバイス名は、MATSHITAXXX や XXX Optical Drive などで表示されます。
 - 10)[リカバリー] をクリックしてください。[キャンセル] をクリックすると、操作を中止できます。
 - 11) 表示された条文に同意していただいた場合は、[同意します] を クリックしてください。
 - 12) [DISK 0](または[DISK1])をクリックし、次の画面で[工場出荷状態に戻す]をクリックしてください。
 - 13) [リカバリー領域を残す]をクリックしてください。
 - 14) 以降は画面の指示にしたがって、再インストールを行ってください。DVD メディアの場合、途中で「ドライブに...番目のメディアを挿入してください」のメッセージが表示されます。その場合は、メッセージに表示されている番号のメディアをセットして[OK] をクリックしてください。
 - 15) 終了のメッセージが表示されたら、リカバリーメディア（光学ドライブが搭載されていないモデルをお使いの場合は光学ドライブ）を取り外し、[シャットダウン] をクリックしてください。パソコンが終了したら、再度電源を入れてパソコンを起動してください。以降は、画面にしたがって Windows のセットアップを行ってください。
 - 16) Windows のセットアップが完了した後、TPM 内蔵モデルをお使いの場合は、以下の手順にしたがって、TPM をクリアしてください。
 - A) (スタート ボタンを右クリック) - [ファイル名を指定して実行] をクリックしてください。
 - B) [名前] 欄に「tpm.msc」と入力して、[OK] をクリックしてください。
 - C) 「コンピューターのトラステッドプラットフォーム モジュール (TPM) の管理」画面が表示されるので、右の「操作」の下の「TPM をクリア」をクリックしてください。
 - D) 「TPM セキュリティハードウェアをクリアします」の画面で、画面の指示に従い、[再起動] をクリックしてください。
 - E) 再起動後、「A configuration change was requested to . . .」が表示されたら、[F12]を押してください。

- F) 「コンピューターのトラステッドプラットフォーム モジュール (TPM) の管理」画面が表示されるので、右の「TPM を準備する…」をクリックしてください。「TPM の準備ができました」と表示されたら「閉じる」をクリックしてください。

【リカバリーメディアに USB メモリーをご利用の場合】

- 1) パソコンの電源を切り、AC アダプターを接続してください。
- 2) パソコンにリカバリー用の USB メモリーを接続してください。
- 3) パソコンの電源を入れ、本体の起動後すぐ、「Panasonic」起動画面が表示されている間に、「F2」または「Del」を押し、セットアップユーティリティを起動してください。パスワードを設定している場合、「パスワードを入力してください」と表示されることがありますので、スーパーバイザーパスワードを入力して、「Enter」を押してください。
- 4) セットアップユーティリティのすべての項目をメモした後、[終了]メニューに移動し、[デフォルト設定]を選び、「Enter」を押してください。確認のメッセージが表示されたら、[はい] をクリックしてください。
- 5) 「←」と「→」を使って「起動」メニューに移動し、[UEFI 起動]が存在する場合は [UEFI 起動]が「有効」であることを確認してください。
- 6) 「終了」メニューに移動して「設定を保存して再起動」を選び、確認のメッセージが表示されたら、[はい] を選び、「Enter」を押してください。セットアップユーティリティが終了し、パソコンが再起動します。本体の起動後すぐ、「Panasonic」起動画面が表示されている間に「F2」または「Del」を押し、セットアップユーティリティを起動してください。パスワードを設定している場合、以降の手順で「パスワードを入力してください」と表示されることがありますので、スーパーバイザーパスワードを入力して、「Enter」を押してください。
- 7) セットアップユーティリティの「終了」メニューに移動し、[デバイスを指定して起動]の下に表示されている USB メモリーのデバイス名を選び、「Enter」を押してください。デバイス名は、XXX USB Flash Drive などで表示されます。
- 8) [リカバリー] をクリックしてください。[キャンセル] をクリックすると、操作を中止できます。
- 9) 表示された条文に同意していただいた場合は、[同意します] をクリックしてください。
- 10) [DISK 0](または[DISK1])をクリックし、次の画面で[工場出荷状態に戻す]をクリックしてください。
- 11) [リカバリー領域を残す]をクリックしてください。
- 12) 以降は画面の指示にしたがって、再インストールを行ってください。
- 13) 終了のメッセージが表示されたら、USB メモリーを取り外し、[シャットダウン] をクリックしてください。パソコンが終了したら、再度電源を入れてパソコンを起動してください。以降は、画面にしたがって Windows のセットアップを行ってください。

- 14) TPM 内蔵モデルをお使いの場合は、Windows のセットアップが完了した後、以下の手順にしたがって、TPM をクリアしてください。
- A) (スタート ボタンを右クリック) - [ファイル名を指定して実行] をクリックしてください。
 - B) [名前] 欄に「tpm.msc」と入力して、[OK] をクリックしてください。
 - C) 「コンピューターのトラステッドプラットフォーム モジュール (TPM) の管理」画面が表示されるので、右の「操作」の下「TPM をクリア」をクリックしてください。
 - D) 「TPM セキュリティハードウェアをクリアします」の画面で、画面の指示に従い、[再起動] をクリックしてください。
 - E) 再起動後、「A configuration change was requested to . . .」が表示されたら、[F12]を押してください。
 - F) 「コンピューターのトラステッドプラットフォーム モジュール (TPM) の管理」画面が表示されるので、右の「TPM を準備する...」をクリックしてください。「TPM の準備ができました」と表示されたら「閉じる」をクリックしてください。

4. Q&A（困ったときは）

4.1 .NET Framework のインストール方法は？

本書記載のツール「リカバリーディスク作成ユーティリティ（ダウンロード対応版）」を利用するためには、あらかじめ、作業用パソコンに「.Net Framework 4.5 以上」が、インストール済みであることが必要です。以下の手順にしたがい、インストールしてください。

- 1) Microsoft 社のサイトから、「.NET Framework」のプログラムをダウンロードします。プログラムのバージョンは、4.5 以上のものを選択してください。
- 2) 保存したプログラムを実行します。「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、「はい」をクリックします。
- 3) ライセンス条項をよくお読みになり、同意された場合は「同意する」をチェックし、「インストール」をクリックして次に進みます。
- 4) 「インストールが完了しました」画面が表示されたら、「完了」をクリックします。

4.2 リカバリー用データの保存先は？

ダウンロードしたリカバリー用データは、以下のフォルダに保存されます。

%PROGRAMDATA%\Panasonic Corporation\Recovery Disc Creation Utility (Recovery Image Downloading Edition)

※上記の[%PROGRAMDATA%]部分は、作業用パソコンの環境設定により異なります。

なお、リカバリー用データは、リカバリーメディアの作成が完了すると、作業用パソコンから削除されます。

4.3 複数機種のリカバリー用データをダウンロードするには？

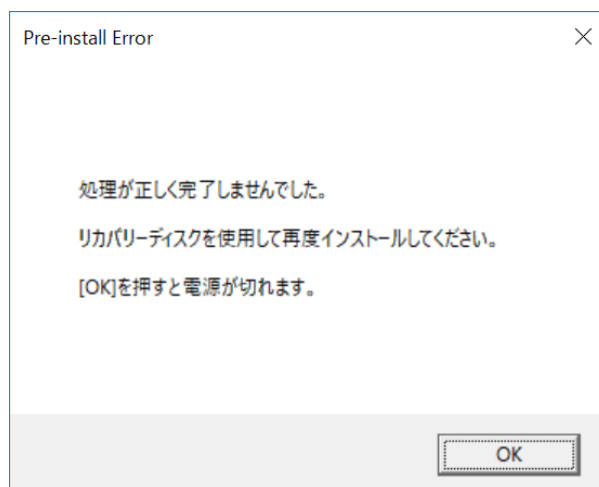
一度、リカバリー用データをダウンロードすると、そのリカバリーメディアを作成しないと（メディアの作成が完了しない限り）、別の機種のリカバリー用データをダウンロードすることはできません。したがって、複数機種のリカバリー用データをダウンロードする場合は、（先にダウンロードしたリカバリー用データの）リカバリーメディアを作成された後に、次の機種のリカバリー用データをダウンロードしてください。

4.4 Microsoft® Office の再インストール方法は？

Microsoft® Office のプロダクトキーカードをご覧ください。カード記載の手順にしたがって、再インストールしてください。

4.5 OS の再インストールに失敗した場合は？

セットアップユーティリティで、無線 LAN が「無効」設定されている場合、OS の再インストール中に、以下のエラー画面が表示されます。



この場合は、以下の手順にしたがって、無線 LAN を「有効」に設定した後、再び、OS の再インストールを実行してください。

- 1) パソコンの電源を入れ、本体の起動後すぐ、「Panasonic」起動画面が表示されている間に、「F2」または「Del」を押し、セットアップユーティリティを起動してください。パスワードを設定している場合、「パスワードを入力してください」と表示されることがありますので、スーパーバイザーパスワードを入力して、「Enter」を押してください。
- 2) 「詳細」メニューに移動し、「無線設定」をクリックしてください。
- 3) 「無線 LAN」をクリックし、「有効」をクリックしてください。
- 4) 「終了」メニューに移動して「設定を保存して再起動」をクリックしてください。確認のメッセージが表示されたら、[はい] を選び、「Enter」を押してください。パソコンが再起動します。